

研究課題名	転移性・進行性腎細胞癌に対する薬物療法の効果に関する観察研究
試料・情報の利用目的・ 利用方法（他機関へ提 供する場合その方法）	現在、進行性・転移性腎細胞癌に対して、たくさんのお薬が使用されています。使えるお薬が増えるのは良いことですが、お薬を使う順番やどういった人にどの薬を使用するかが難しくなっています。そこで、当院で腎癌のお薬による治療を受けられた方の治療成績を調査し、それぞれのお薬の治療効果や使う順番などがわかれば今後の腎癌治療に役立つと考えました。
研究対象者	2008 年以降にベルランド総合病院泌尿器科へ腎細胞癌治療のために受診され、スーテント、ヴォトリント、ネクサバル、アフィニール、トーリセル、インライタ、カボメティクス、オブジーボ、キイトルーダ、レンビマを使用された方
利用又は提供する試 料・情報の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：生年月、腎細胞癌診断日、手術の有無、病理組織結果、ヘモグロビン値、PS (performance status)※、カルシウム値、血小板値、好中球数、発症から転移までの期間、治療開始日、転移の部位、 薬剤導入後の経過：投与量、休薬有無、減量有無、画像評価、治療経過 （※PS：全身状態の指標であり、患者さんの日常生活の制限の程度を示します）
研究予定期間	機関の長の実施許可日 ～ 2030 年 12 月 31 日
試料・情報の取得方法	通常診療の過程で得られます
試料・情報を利用する者 の範囲	この研究はベルランド総合病院 泌尿器科のみで行います
試料・情報の管理について 責任を有する者の氏名又 は機関の名称	ベルランド総合病院 院長 片岡 亨
研究に協力したくない場合	研究への試料・情報の利用についてご同意いただけない場合は下記お問い合わせ先までお申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはありません。
お問合せ先	ベルランド総合病院 泌尿器科 氏名：玉田 聡 メールアドレス：s_tamada@seichokai.or.jp 〒599-8247 堺市中区東山 500-3 TEL：072-234-2001（代）